



しおかぜ



更新をお願いします

年度替わりの時期となりました。個人
会員の更新をお願い致します。更新が出来
ない方については道院長が代行致しますの
で連絡をお願い致します。



2024.01.28 新春法会

宋昴馬会長メッセージ

一年で「最も大きな節目」と呼べる時期
がやってきました。

何らかの“卒業”を迎えようとしている方、
受験などでまだまだ緊張感が解けない方：
このメッセージをご覧になっている方の中に
も、さまざまな状況があることだと思いま
す。それぞれの節目が、深く記憶に刻み込
まれる有意義な体験となりますよう、心よ
り祈念いたします。

人生における節目は、長く続く階段の、
ひとつひとつのステップに似ているかも知れ
ません。

努力して上った一つのステップ。その上には
はしばらく平坦な道が続きますが、やがて
また新しいステップが見えてきます。面白い
ことに、それが見えてくるころには、苦勞し
て上ったはずの以前のステップが、それほど
大きなものと感じなくなっていることも少
なくありません。

そんな風に、節目とは、自分の来た道を
振り返り、その過程での成長を実感する機
会でもあるように思います。

一日は、等しく誰にとつても一日です。
それを「一日」と言わず、「24時間」あるい
は「1,440分」「86,400秒」と言うと、
少し印象が変わるでしょうか。そして、これ
を365日に換算すると、相当な数値にな

ることが判ります。

一日の中で有意義に過ごした時間も、ム
ダに過ごしてしまった時間も、一年後には
365倍になって還ってくるのだということ
です。

たかが一日と思うか、されど一日と思
うか。



2024.01.28 新春法会

今後の予定

- ◎ 3月14日(日) 9:00～ 審判講習会(青葉体育館)
- ◎ 4月27日(土)12:00～ 道院感謝デー(塩竈道院専有道場)
- ◎ 4月29日(月) 9:00～ 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎ 5月12日(日) 9:30～ 仙台市大会(青葉体育館)

わずかな時間の積み重ねに意義を見出し、変化を楽しみに努力する生き方。それが人間として真摯に生きるということだと思います。

一方、少林寺拳法の各道院では、別れの季節でもあります。長く共に修行してきた仲間が、進学や就職、転勤などで離ればなれになることは、言葉にしがたい悲しさや寂しさ、口惜しさを感じるものです。

ただ、我々が目指しているのは、拳士ひとりひとりの成長であり、その周りに豊かな



2023.12.23 サッポロビール園での忘年会

社会が広がっていくこと。ならば、たとえ離ればなれになるとしても、その人の人間的な成長を喜び、新天地での活躍を願うべきなのでしょう。

この春もまた、何人もの拳士が、少林寺拳法で学んだことを活かすために新しい世界へと旅立っていくことを誇りに思い、その活躍を願ってやみません。

さあ、それぞれが主役の新しいドラマが始まります。

一日一日を大切にし、成長した自分ドラマを、春からオンエアしていきましょう！

中国古典 紹介

「愚者は成事に闇く、知者は、未萌に見る」
を掲載 『戦国策』

「成事に闇い」とは、ものごとが形になって現れてきても、まだそれに気づかないということだ。なるほど、これでは「愚者」のレッテルを貼られてもしかたがない。

これに対し、「知者」とは「未萌」にだといふ。「未萌」とは、「いまだ萌さず」で、ものごとが形になってあらわれてくるまえの段階

である。その段階に、あらかじめ動きを察知して、適切な対策を講じられる人、それ

2024.01.13 塩竈道院での土曜日の稽古で



が「知者」なのだという。

その点、われわれの場合は、「後知恵」になることが多い。「あるとき、ああしければよかった」とか「こう言えばよかった」とか、後で悔やむことのなんと多いことか。「未萌に見る」と「後知恵」とでは、えらい違いである。

「未萌」にすることができればできるほど、きびしい現実を生きる有利であることは言うまでもない。